

市有財産活用手法検討シート(旧北都中学校)

用途	施設名	旧北都中学校	
	施設用途	学校教育施設	
	施設所在地	旭川市7条通16丁目78	
	都市計画区域区分	第2種住居地域	
建物	建築年度	1958年(築59年)	
	建物延床面積	6,161.03㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造 地上3階	
	法適合性の状況	耐震化	要耐震改修
		バリアフリー	法適用前
		アスベスト	外壁の塗材及び下地調整材の一部に含有
		VOC対策	法適用前
		省エネルギー	法適用前
	避難所指定の有無	有	
	建物に関する特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎はS33, S35, S36, S38, S39, S40, S41, S42, S46の建築物 ・屋体はS46年の建築物 ・課外活動部室はS47年の建築物 ・平成27年3月31日閉校 	
有償貸付の見込み	耐震性が確保されていないため貸付けることに課題がある。		
建物付売却の見込み	活用する場合は耐震改修が必要であるなど条件を明示した上での建物付き売却の可能性もある。		
土地	敷地面積	10,710.74㎡	
	土地に関する特記事項	一部敷地に国有地がある。	
	土地売却の見込み	土地に関する特記事項の整理が必要であるが、市内中心部の土地であり、売却できる見込みがある。	
庁内利活用の検討状況		庁舎建設・解体工事に伴い、市内中心部に作業員の車両駐車場や資材搬入等の大型車の待機場所の確保が必要。	
用途廃止検討に際しての地域協議の状況		平成22年から、住民説明会の開催や旭川市中心部3中学校統合検討会議、統合準備委員会などの地域住民を交えた協議を経て、平成27年3月末に閉校した。	
活用手法を検討する上での地域協議の必要性		活用手法の検討状況を踏まえ、地域への説明が必要。	
市有財産の活用手法		庁舎建設・解体工事における車両待機場所等として活用しつつ、工事終了後の土地売却に向けた課題整理や協議を進めていく。	

写真1



写真2



写真3

